大阪公立大学
Osaka Metropolitan University
学術情報リポジトリ

人事給与システム・財務会計システム・教務学生システム・図書館システムの第3期システム更新について

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-11-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/15078

人事給与システム・財務会計システム・教務学生システム・図書館システムの第 3 期システム更新について

情報システム室　岩橋直子

第 3 期情報システムの調達スケジュールに従い、人事給与システム・財務会計システム・教務学生システム・図書館システムでは、それぞれの状況に応じた対応を検討している。

１．人事給与システム

大阪市立大学との法人統合を見据え、新たなシステム調達は行わず、現行仕様のままシステムを延長することを基本方針としている。

但し、ハードの入れ替え、それに伴い OS、ミドルウェアを更新し、併せて勤怠管理機能の追加を行う方向で検討している。

２．財務会計システム

大阪市立大学との法人統合を見据え、両大学共通の財務会計システムを早期導入することを基本方針としている。

そのため、現行システムについては、ハード・ソフトの更新はせず、1 年 4 ヶ月（平成 30 年 6 月末まで）のリース延長契約（想定は保守契約のみ）を締結する方向で検討している。

３．教務学生システム

大阪市立大学との大学統合も念頭に置き、ひとまず新たなシステム調達は行わず、現行仕様のままシステムを延長することを基本方針としている。

但し、これまでシステム上、できなかったエクセルによる名簿出力、授業支援システムとの連携で名簿順を同じように並ぶよう改修を行なう。

４．図書館システム

第 3 期情報システムの調達スケジュールに従い、平成 27 年 7 月に第 3 期図書館システムの仕様の検討を開始した。現行図書館システム運用上の課題（人事給与システム・教務学生システムとのデータ連携等）を確認し、仕様書案を作成、同年 10 月に RFC を実施、仕様書を確定し、入札公告を平成 28 年 2 月 15 日に実施、同年 3 月 29 日に審査委員会で業者及び次期図書館システムを決定した。

平成 28 年 4 月に落札者を公示し開発に着手、平成 29 年 3 月に新システムを運用開始する予定である（契約期間は 6 年間）。

以上